

ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」に関するご質問への回答

令和2年11月5日
文部科学省研究振興局
ライフサイエンス課

ナショナルバイオリソースプロジェクトは、国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、質の高いバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する事業です。

本事業は第1期から第3期の平成26年度までは文部科学省で実施しており、平成27年度からは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の事業として実施しております。

ご質問いただいた内容に関しまして、以下のとおり回答いたします。

（参考）

第1期（平成13～18年度）、第2期（平成19年度～平成23年度）：文部科学省にて実施

第3期（平成23年度～平成28年度）：平成26年度までは文部科学省で実施

平成27年度からはAMEDで実施

第4期（平成29年度～）：AMEDで実施

【質問1】2002年にナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）「ニホンザル」始動後、繁殖母群として何年まで何頭導入しましたか？ 年度ごとの頭数をお答えください。

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問2】最後の繁殖母群の導入はいつですか？

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問3】これまでの導入元をすべてお答えください。

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研

研究所にお問い合わせください。

【質問4】 今後について、新たに繁殖母群の導入はしない方針でしょうか？ 該当する項目を○で囲ってください。なお（ウ）の場合、（ ）内に具体的にご記入ください。

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問5】 2002年にNBRP「ニホンザル」始動後、何頭繁殖させましたか？年度ごとの頭数をお答えください。

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問6】 2002年にNBRP「ニホンザル」始動後、何頭供給しましたか？ 年度ごとの頭数をお答えください。

（回答）

当方で把握している頭数は以下のとおりです。平成13年度から平成19年度については、文書不存在のためお答えができません。平成20年度から平成26年度については以下のとおりです。

平成27年度以降は、本事業はAMEDに移管しており、報告書関係はAMEDまたは各実施機関において取り扱っております。そのため、平成27年度以降に関しては、AMEDまたは各実施機関にお問い合わせください。

単位：頭

H20(2010)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
67	85	25	83	112	78	85

【質問7】 これまでの供給先と頭数をすべてお答えください。

（回答）

当方で把握しておりませんので、京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問8】 これまでの補助金額について、年度ごとの金額をお答えください。

（回答）

当方で把握している交付決定額は以下のとおりです。平成13年度から平成19年度につ

いては、文書不存在のためお答えができません。平成 20 年度から平成 26 年度については以下のとおりです。

平成 27 年度以降は、本事業は AMED に移管しており、報告書関係は AMED または各実施機関において取り扱っております。そのため、平成 27 年度以降に関しては、AMED または各実施機関にお問い合わせください。

単位：千円

H20(2010)	H21(2009)	H22(2012)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
230,000	230,000	225,400	221,025	221,025	221,025	203,858

【質問 9】【質問 8】でお答えいただいた補助金額のうち、ニホンザルの飼育・繁殖等の委託先となっている民間施設への再委託費はいくらになりますか？年度ごとの金額をお答えください。

(回答)

当方で把握しておりませんので、自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問 10】現在の民間委託先である株式会社奄美野生動物研究所には、2020 年 10 月 1 日時点で何頭のニホンザルがいますか？

(回答)

当方で把握しておりませんので、自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問 11】奄美野生動物研究所のニホンザルたちは今後、どのように扱うことになりますか？具体的にご説明ください。

(回答)

当方で把握しておりませんので、自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問 12】私どもは、アニマルウェルフェアに配慮し、適切な環境における終生飼養を求めますが、それを実現させる考えはありますか？該当する項目を○で囲ってください。

(回答)

実験動物については「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」等に基づき適切に飼養等を行うことと理解しております。詳細については、各実施機関にお問い合わせください。

【質問13】繁殖母群を動物実験に用いることはないというのがNBRP「ニホンザル」開始当初の説明でしたが、このルールは現在も守られていますか？該当する項目を○で囲ってください。なお、(ウ)の場合、()内に具体的にご記入ください。

(回答)

当方としては、実験に用いられていないと理解しておりますが、詳細については京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問14】奄美野生動物研究所のニホンザルたちは繁殖母群であり、実験に用いられることはないという認識で間違いないでしょうか？該当する項目を○で囲ってください。なお、(ウ)の場合、()内に具体的にご記入ください。

(回答)

当方としては、実験に用いられていないと理解しておりますが、詳細については京都大学霊長類研究所及び自然科学研究機構生理学研究所にお問い合わせください。

【質問15】国際的に霊長類の実験利用はなくすべきであるとして、削減の努力が進められておりますが、縮小傾向にあるNBRP「ニホンザル」を終了させるお考えはありますか？該当する項目を○で囲ってください。なお、(ウ)の場合、()内に具体的にご記入ください。

(回答)

NBRP 第4期(令和3年度まで)の事業内容・評価を踏まえ、NBRP 第5期(令和4年度～)の制度の検討をしていく予定です。